

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 6 年 5 月 27 日

事業所名 レベルアップ

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	6				
	2	職員の配置数は適切である	5	1			
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	6				
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	6				
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	6				
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	5	1			職員会議を実施し、職員への共有を行っていく
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	3	2	1		第三者委員会でやっている評価を職員に共有する
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	6				
適切な 支援の 提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	6				
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	5	1			前回の指標を用意し、それを基準に評価を行う。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	5	1			活動プログラムについても会議で話し合っていていく
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	5	1		曜日で担当を決めているので、固定化しないように工夫している。	職員等でアイデアを出し合い、実行していく
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	6				
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる放課後等デイサービス計画を作成している	6				
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	3	3		出勤時間にばらつきがあるため、その都度共有を行っている。	事前に確認を行ったり、必要時は個別で打ち合わせを行い、周知を図っていきます
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	1	5			支援終了後には時間が取れないことが多く、翌日始業時や会議時に確認している。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	6				
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	6				
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせる支援を行っている	5				

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
関係機関 や保護者 との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者 会議にその子どもの状況に精通した最もふ さわしい者が参画している	6				
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等 の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡 調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連 絡)を適切に行っている	6				
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場 合は、子どもの主治医等と連絡体制を整え ている	1	3	2		医療的ケアが必要な子どもの受け入れを行って いない
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認 定こども園、児童発達支援事業所等との間 で情報共有と相互理解に努めている	2	2	2	他事業所との連携は とっている。また相談 員からの情報はも らっている	就学時直前に体験利用をしてもらった。その際、保 育所に迎えに行き先生と情報交換をした。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業 所から障害福祉サービス事業所等へ移行す る場合、それまでの支援内容等の情報を提 供する等している		2	4		該当児童がいなかったため、情報提供はできてい ない。今後必要時には、情報共有を行う。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援セ ンター等の専門機関と連携し、助言や研修 を受けている	2	1	3		現在つながりがなく、連携が取れていないため、今 後つながりを増やし連携が取れるようにしていく。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障 がいのない子どもと活動する機会がある		4	2	地域のイベントに 参加している	公園等で交流あり。 児童館へも何度か参加している
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加 している	3	3		宜野湾連絡会に 参加している	連絡会に参加していることを職員に話していき、必 要時には、会議の参加を促す
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合 い、子どもの発達状況や課題について共 通理解を持っている	6				
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保 護者に対してペアレント・トレーニング等の支 援を行っている		3	3		ペアトレの研修を受けたりして職員の対応力向上を 図る。ペアトレがどういふことをするのか職員間で周 知していく
保護者 への説明 責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等につ いて丁寧な説明を行っている	6				
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談 に適切に応じ、必要な助言と支援を行って いる	6				
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等 を開催する等により、保護者同士の連携を 支援している	2	4			イベントを開催し、保護者同士が交流の機会は持っ ている
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応 の体制を整備するとともに、子どもや保護者 に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適 切に対応している	6				
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事 予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者 に対して発信している	5	1		ブログにて活動 や行事様子を掲 載している。	月予定表を配布し、行事予定などをお知らせしてい る。 プロブにて活動や行事の様子を掲載し、児童の様 子を伝えている
	35	個人情報に十分注意している	6				
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎 通や情報伝達のための配慮をしている	6				
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地 域に開かれた事業運営を図っている		3	3		昨年、学童の行事に参加したので今回は地域の方 々が参加できるような行事等を実施していきたい。

		チェック項目	はい	どちらとも いいない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
非常時等の 対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	5	1			ホームページ等に記載し、閲覧できるようにしていきたい
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	6				
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	6				
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し理解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	2	3			身体拘束をしないといけない児童がおらず、具体的に保護者への説明をしていない
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	4	2			アセスメントでの確認しか行っていないため、医師の指示書があるか保護者に行う
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	2	2	2		簡易的に書ける用紙を準備し、原本の把握を行う また、ヒヤリハットを記入した際は、会議等で共有し、改善点等を話し合う。